

大野先生にインタビューしました！

～ おすすめの1冊～

『陸奥圓明流外伝 修羅の刻』 川原正敏 / 作

(むつえんめいりゅうがいでん しやらのとき)

13クラスの担任をしている大野峻先生の担当教科は「商業」です！
また、陸上競技部の顧問もやっています！
真面目でとても優しい先生です！



～編集後記～

大野先生、インタビューを受けてくださりありがとうございました。
『修羅の刻』の魅かや大野先生の話しはとても興味深く、聞けば聞くほど『修羅の刻』を読みたくなりました！
みなさんもぜひ読んでみてください！

12クラス 編集担当者 (中林 賢士郎)
13クラス 和田 七穂



～編集後記～

田中先生は、ついには、なぜ自分がその本をオススメしたのか、作者さんのことを詳しく話ししてくださった。とても興味深く、おもしろいインタビューになりました。
おすすめの本を読んできましたか、自分には無い考え方で、読んだ後に少し自分の視野が広がった感じがしました。皆さんもぜひ読んでほしいです。

編集担当者 (西本, 蒲, 山腰, 中村)

田中美保子先生

- ・英語の先生
- ・月に3冊ほど本を読む
- ・小説: エッセイ本・環境問題の本を読む

「キミのためにできること」

宮本延春 / 著

この本は、私が『教員になろう』と思ったきっかけの本です。
宮本さんは、小学生の時からいじめにあい、不登校気味だったり、中学生で親をなくし、中卒で働いたり苦勞の多い方でした。
そんな中でも物理に興味を持ち、2の掛け算もできない状態でも定時制の学校へ入り、努力を重ねて27歳で名古屋大学に合格しました。そんな、努力の人です。
とても読みやすい本で、私たちの悩みによりよくくくれます。問題解決につながると思います。悩んでいる高校生の皆さんに一度手にとってほしいです。



人生何があるか分かりません。私も7年間大学で司書をしていましたが、今は教員として働いています。また、どんな経験もムダにはなくいつか将来に役に立ちます。
自分のやりたいことや夢を見つければみんながんばってください。

『修羅の刻』は陸奥圓明流の使い手達が史上に名高い猛者と闘い、影に隠れながらも日本の歴史を動かして来た様を描くシリーズです。時代を動かしてきた中心人物の生き様と陸奥の名を背負った主人公との友情や愛情、そしてその時代に生きる人々の想いを通し、人と人との関わり、にまで踏み込んで、その「刻」も浮き彫りにしていきます。

大野先生がこの漫画を好きな理由は、歴史が好きで、人物の生き様を見るのが好きだからとのこと！歴史が好きな人や人として強い人を目指す人へおすすめですよ！どのシーンも面白くて、名言や名シーンがたくさんあるのも魅力の一つです。大野先生は『修羅の刻』を読んでから生き様について考えるようになったとおっしゃっていました！生徒のみならずには「漫画のキャラのように、物事を信念を持って成し遂げてほしい。」と大野先生はおっしゃっていました！

Introduction of New Books



新しい本が入りました
裏面に一覧があります！

秋の読書週間がはじまりました！

《期間: 10月27日～11月9日》



いつもより、少し意識して読書の時間を作ってみませんか？
朝の5分だけでも、本を読んでから一日をスタートしてみよう！
きっと落ちついた気分で勉強に励むことができますよ！
図書館は朝8時15分から開館しています。今日読む本を探しに来てくださいね♪